

仙台市のひきこもりに関連する相談窓口・取り組み

精神保健福祉総合センター(はあとぽーと仙台)

ご本人やご家族のご相談を心理士や保健師、精神保健福祉士などの専門職がお受けします。また、ご本人のためのフリースペース、ご家族のための家族グループや家族教室も行っていきます。

【所在地】青葉区荒巻字三居沢1-6 【連絡先】022-265-2191

【時間】平日 8:30~17:00 【費用】無料

*ご相談の際にはあらかじめお電話にてご予約をお願いいたします。

ひきこもり地域支援センター(ほわっと・わたげ)

不登校やひきこもりでお悩みのご本人やご家族からの相談をお受けします。ご家族を対象とした父親・母親勉強会を開催しています。また、ご本人を対象とした交流の場としてのサロン活動を行っています。

【所在地】若林区遠見塚1-18-48

【連絡先】022-285-3581

【時間】平日 10:00~17:00 【費用】無料

各区保健福祉センター

各区保健福祉センターの障害高齢課(総合支所管内については総合支所保健福祉課)において、精神保健福祉相談員や保健師などがご相談をお受けしています。

【連絡先】下記をご確認ください(各区・支所の代表番号となります)

【時間】平日 8:30~17:00 【費用】無料

青葉区障害高齢課(青葉区役所3階) 022-225-7211

宮城野区障害高齢課(宮城野区役所2階) 022-291-2111

若林区障害高齢課(若林区役所1階) 022-282-1111

太白区障害高齢課(太白区役所2階) 022-247-1111

泉区障害高齢課(泉区役所1階) 022-372-3111

宮城総合支所保健福祉課(宮城総合支所1階) 022-392-2111

秋保総合支所保健福祉課(秋保総合支所1階) 022-399-2111

子ども若者相談支援センター

学校生活や就労、家庭のことなど、様々な不安や悩みを抱えるご本人(39歳まで)やご家族からの相談をお受けします。また、日中の安定した居場所としてご利用いただける「ふれあい広場」も開設しています。

【所在地】青葉区錦町1-3-9 錦町庁舎2階

【連絡先】022-214-8602

【時間】平日 8:30~18:00 【費用】無料

ひきこもり青少年等社会参加促進事業

主に若年者を対象に、スポーツや行事などを通して利用者同士の交流を行うほか、就労の準備のためのボランティア体験(清掃活動など)を行っています。

【お問い合わせ先】

ひきこもり地域支援センター(ほわっと・わたげ)まで

中高年ひきこもり者向け居場所支援モデル事業

中高年(主に40歳~64歳)を対象に小集団でのプログラム活動などをしながら、家以外で過ごせる居場所の提供を行っています。

【お問い合わせ先】

おれんじ・すぺーす

【所在地】青葉区堤通雨宮町4-2 朝日プラザエザースII101

【連絡先】080-5844-1098

親なきあと生活設計事業

将来的な経済面での不安や悩みをお持ちのご家族からのご相談に応じます。ファイナンシャルプランナーによる家計相談に加え、ソーシャルワーカーによる生活相談を並行して行います。

【お問い合わせ先】

NPO法人障がい者の暮らしとお金の相談室

【所在地】若林区土樋264-1 キャッスル北沢仙台201

【連絡先】080-6937-7267

相談窓口や取り組み、ひきこもり経験者の声などを詳しく知りたい方は、こちらの二次元コード、URLからアクセスしてください。

URL: <https://www.city.sendai.jp/chiikisekatsushien/voice.html>



調査に関する 市民の生活状況に関する調査担当(仙台市健康福祉局)

お問い合わせ先 連絡先 022-214-8742(平日 9:30~16:30)

本調査は、内閣府の地域就職氷河期世代支援加速化交付金を活用し、実施しております。

市民の生活状況に関する調査

— ひきこもり支援の充実に向けて —

ひきこもりは、日常の身近な出来事がきっかけになることも多く、私たち誰にでも起こり得るものです。

したがって、そのサポートには、ひきこもりをご本人やご家族だけのことだと捉えず、周囲の方々の理解とともに社会全体で取り組むことが必要です。

市民の皆さまとともに、誰一人取り残さない社会づくりに向けて進んでまいりたいと思います。

調査へのご協力をお願いいたします。

仙台市長 郡 和子

この調査は、15歳から64歳の方が属する全ての世帯を対象にしています。様々な立場の多くの市民の皆さまからお寄せいただいたご意見をもとに、よりご本人やご家族に寄り添い、安心してご利用いただける支援を行っていくために実施するものです。

皆さまのお声を仙台市にお知らせください。



裏面のとおり回答します。
(個人情報に記載した場合)

支援情報の送付や個別相談の案内のために個人情報を提供することに同意します。

回答方法は以下のとおりです。

- 回答は世帯*のどなたがご記入いただいても構いません。
 - 答えにくい質問には、無理にお答えいただかなくても構いません。
- *仙台市内にお住まいの15歳から64歳(令和5年5月1日現在)の方がいらっしゃる全ての世帯に配付しています。

回答方法

二次元コードを読み込んで、回答フォームに入力してください。

[URL] <https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi2/uketsuke/form.do?acs=VOICE>

インターネット環境がない方は、返信用ハガキでご回答ください

- ① 4ページのハガキを切り離してください。
- ② 質問を読み、濃い鉛筆で、該当する番号の○を黒く塗りつぶすか、□の中に、数字を記入してください。
- ③ 記載面保護シールを回答記入面に貼ってください。
- ④ ハガキをポストに投函してください(切手は不要です)。

【回答期限】11月30日まで

個人情報の管理について

- ご回答いただいた内容は、本調査の利用目的以外には使用いたしません。
- 調査結果は、個人が特定されない形で集計し、公表することがあります。

記載面保護シールの下にも質問があります。

I 回答している方全員に、お聞きします

問1 あなたは現在何人で暮らしていますか

___人

問2 あなたは現在どなたと暮らしていますか(複数回答可)

1. 一人暮らし
2. 配偶者・パートナー
3. 子ども
4. 親
5. 兄弟姉妹
6. 孫
7. 祖父母
8. その他

問3 あなたが日常生活において不安や悩みに思っている事柄は何ですか(複数回答可)

1. 収入・生活資金
2. 自分や家族の健康
3. 学業や仕事
4. 家事や子育て、介護
5. その他
6. 特になし

問4 あなたは日常生活の不安や悩みを誰に相談していますか(複数回答可)

1. 家族
2. 家族以外の親族
3. 友人・近所の人
4. SNSなどインターネット上の知り合い
5. 職場の人
6. 行政機関や民生委員など
7. 相談する人はいない

問5 あなたのご近所の方との付き合いについてお聞きします

1. 常に訪問し合う人がいる
2. 困ったときに相談できる人がいる
3. あいさつを交わす程度
4. 付き合いはない

問6 あなたの世帯で「仕事や学校などに行かず、家族以外の人との交流をほとんどしない状態」にあてはまる方は、現時点で何人いますか

___人

- 「0人」と回答した方は、問16へ
- 「1人」以上と回答した方は、問7へ

問7 この調査票に回答している方は、「仕事や学校などに行かず、家族以外の人との交流をほとんどしない状態」にあてはまる方ご本人ですか

1. はい
2. いいえ

II 問7に回答した方に、お聞きします

- 「はい」と答えた方は、以下の質問は、ご自身のことについて、お答えください。
- 「いいえ」と答えた方は、「仕事や学校などに行かず、家族以外の人との交流をほとんどしない状態」にある方のことについて、お答えください。
- なお、その状態にある方が2人以上の場合は、そのうちのお一人のことについてお答えください。

問8 性別をお答えください

1. 男性
2. 女性
3. 無回答

問9 年齢をお答えください

___歳

問10 外出の状況についてお答えください

1. ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する
2. ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
3. 自室からは出るが、家からは出ない
4. 自室からほとんど出ない

問11 現在の状況になって、どのくらいになりますか

1. 6か月未満
2. 6か月～1年未満
3. 1年～3年未満
4. 3年～5年未満
5. 5年～10年未満
6. 10年以上

問12 現在の状況に至ったきっかけについてお答えください(複数回答可)

1. 不登校
2. 受験がうまくいかなかった
3. 学校でのトラブル
4. 就職活動がうまくいかなかった
5. 職場でのトラブル
6. 友人や家族との人間関係上のトラブル
7. 事故や加齢などによる要介護状態や長期に療養を要する病気
8. 新型コロナウイルス感染症の流行
9. 結婚や子育て、パートナーの転勤
10. 東日本大震災による影響
11. 分からない
12. その他

問13 これからのあなたにとって必要なことはありますか(複数回答可)

※ご本人以外の方がご回答いただく場合は、ご本人にとってどのようなことが必要と思われるかを、お答えください。

1. 専門家のカウンセリングを利用すること
2. 学習や資格取得に取り組むこと
3. 家事や子育て、介護に取り組むこと
4. 健康づくりや体調管理に取り組むこと
5. 家計の管理・改善に取り組むこと
6. 就職や復職の訓練プログラムを利用すること
7. 自分に合った仕事を探すこと
8. 仕事をする
9. 就労以外の社会貢献活動を行うこと
10. 気軽に集まることができる場に参加すること
11. 支援やサポートに関する情報を集めること
12. 同じ悩みを抱える人と出会う場に参加すること
13. 上記1～12以外
14. 今のままで良いとは思わないが、具体的には分からない
15. 何も必要ない、今のままで良い

問14 上記の必要なことについて、サポートやアドバイスを受けるとしたら、どのような条件があれば利用したいと思いますか(複数回答可)

1. 同じ悩みを持っている人がいること
2. 同世代や同性の人がいること
3. 医師や心理学の専門家がいないこと
4. 公的な支援機関であること
5. 民間の支援機関であること
6. 無料で利用できること
7. 利用できる場所が自宅から近いこと
8. 匿名で利用できること
9. SNSやインターネットで対応してくれること
10. 曜日・時間帯を気にせず利用できること
11. 条件に関わらず利用したくない

問15 専門機関や医療機関などに相談したことはありますか

1. 相談したことがあり、現在も相談している
2. 相談したことはあるが、現在は相談していない
3. 相談したことはない

III 回答している方全員に、お聞きします

問16 仙台市が設置・運営する窓口のうち、ひきこもりに関する相談ができることを知っているものについてお答えください(複数回答可)

1. ひきこもり地域支援センター(ほわっと・わたげ)
2. 精神保健福祉総合センター(はあとぼーと仙台)
3. こども若者相談支援センター(旧 子供相談支援センター)
4. 各区保健福祉センター

問17 ひきこもり支援に関するご意見を自由に記入ください。

市民の生活状況に関する調査 回答票

問1 人 問2 1 2 3 4 5 6 7 8

問3 1 2 3 4 5 6 問4 1 2 3 4 5 6 7

問5 1 2 3 4 問6 人 「0人」と回答した方→問16へ
「1人」以上と回答した方→問7へ

問7 1 2 問8 1 2 3 問9 歳

問10 1 2 3 4 問11 1 2 3 4 5 6

問12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

問13 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

問14 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

問15 1 2 3 問16 1 2 3 4

問17

問6で「1人」以上と回答した方は、ひきこもり経験者の声や支援に関する情報をお送りしますので、下記の事項についてご記入ください。

氏名・年齢	()歳
住所	
電話番号又はメールアドレス	

保護シールのしるし